

舞鶴工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合英語 V A (Inter)
科目基礎情報				
科目番号	0236	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目	対象学年	5	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	「Best Practice for the TOEIC Listening and Reading TEST」(成美堂), 「Evergreen English Grammar 27 Lessons」(いっずな書店)			
担当教員	山根 秀介, 大内 真一郎, 平尾 恵美			

到達目標

- 聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。
- 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。
- 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。
- 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
- 日常生活や身近な話題に関して、毎分 100 語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。
- 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。
- 説明や物語などの文章を毎分 100 語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。
- 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
- 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100 語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。
- 自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分 120 語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。
- 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。
- 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、適切に音読あるいは発話できる。	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、ある程度音読あるいは発話できる。	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できない。
評価項目2	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得してある程度運用できる。	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できない。
評価項目3	中学で既習の語彙、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を適切に運用できる。	中学で既習の語彙、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語をある程度適切に運用できる。	中学で既習の語彙、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を適切に運用することができない。
評価項目4	中学で既習の文法や文構造、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を適切に運用できる。	中学で既習の文法や文構造、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造をある程度適切に運用できる。	中学で既習の文法や文構造、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を適切に運用することができない。
評価項目5	日常生活や身近な話題に関して、毎分 100 語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることが十分にできる。	日常生活や身近な話題に関して、毎分 100 語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがある程度できる。	日常生活や身近な話題に関して、毎分 100 語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができない。
評価項目6	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で適切に話すことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語である程度適切に話すことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で適切に話すことができない。
評価項目7	説明や物語などの文章を毎分 100 語程度の速度で聞き手に伝わるように音読が十分にできる。	説明や物語などの文章を毎分 100 語程度の速度で聞き手に伝わるように音読がある程度できる。	説明や物語などの文章を毎分 100 語程度の速度で聞き手に伝わるように音読することができない。
評価項目8	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることが十分にできる。	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることがある程度できる。	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができない。
評価項目9	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100 語程度のまとまりのある文章を英語で適切に書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100 語程度のまとまりのある文章を英語で書くことがある程度できる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100 語程度のまとまりのある文章を英語で適切に書くことができない。
評価項目10	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分 120 語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることが十分にできる。	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分 120 語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることがある程度できる。	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分 120 語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができない。
評価項目11	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動することが十分にできる。	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動することがある程度できる。	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動することができない。
評価項目12	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることが十分にできる。	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることがある程度できる。	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	<p>【授業目的】 この授業では、英語の聞き取りと読解能力の向上を目指し、TOEICテスト受験にむけて学ぶことを目的とする。</p> <p>【Course Objectives】 The objectives of this course are to improve listening, and reading skills and to help students prepare for TOEIC test.</p>
授業の進め方・方法	<p>【授業方法】 TOEICの問題演習、基本的な文法事項の復習を行いながら、聞き取りと読解を中心に指導していく。</p> <p>【学習方法】 ・予習・復習を怠らず行うこと。 ・板書はノートにとること。 ・授業中の演習、授業外の課題に取り組むこと。</p>
注意点	<p>【定期試験の実施方法】 期末の定期試験を行う。時間は50分とする。</p> <p>【成績の評価方法・評価基準】 定期試験を35%、小テスト・課題・演習活動を65%として評価する。到達目標に基づき、各項目の理解の到達度を評価基準とする。</p> <p>【履修上の注意】 本授業の目標を到達するには、予習・復習などの自己学習が必須である。辞書を引いたり文法書を参照したりすること。</p> <p>【教員の連絡先】 教員名 大内真一郎/山根秀介/平尾恵美 研究室 A棟3階 (A-301) /B棟3階 (B-305) /A棟3階 (A-302) 内線電話 8906/8902/8909 e-mail: s.ouchi アットマーク maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。) /s.yamane アットマーク maizuru-ct.ac.jp /e.hirao アットマーク maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)</p>

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	シラバス説明 UNIT 5 / Lesson 13 不定詞(1)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		2週	Unit 5 / Lesson 13 不定詞(1)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		3週	Unit 5 / Lesson 14 不定詞(2)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		4週	review / Lesson 14 不定詞(2)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		5週	Unit 6 / Lesson 16 動名詞(1)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		6週	Unit 6 / Lesson 16 動名詞(1)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		7週	Unit 6 / Review	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		8週	前期中間試験にかわる課題および小テスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
	2ndQ	9週	Unit 7 / Lesson 22 関係詞(1)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		10週	Unit 7 / Lesson 22 関係詞(1)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		11週	Unit 7 / Lesson 23 関係詞(2)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		12週	review / Lesson 23 関係詞(2)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		13週	Unit 8 / Lesson 24 関係詞(3)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		14週	Unit 8 / Lesson 24 関係詞(3)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		15週	Unit 8 / Review	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

			<p>中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			<p>説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			英語運用能力向上のための学習	<p>自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。</p>	3
		<p>英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。</p>		3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
		<p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p>		3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	0	0	0	65	0	100
基礎的能力	35	0	0	0	65	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0